

春季検閲式

消防団による春季検閲式が、4月25日草野小学校グラウンドで行われました。式典には消防団員、女性消防隊など約200人が参加し、防火意識を新たにしたりとです。今年の火災発生状況は、3月に建物火災2件、4月に1件の枯れ草火災が発生しました。あらためて「村民一人ひとりの防火意識の高揚と予防消防活動にさらに努めなければ」と強く感じました。



▲検閲官の通常点検を受ける消防団員

までいな家

21世紀環境共生型住宅普及活動事業の一環として取り組んできたエコモデルハウス、「までいな家」が完成し、4月24日に開所式と記



▲役場庁舎西側に建築された「までいな家」

念シンポジウムを開催しました。までいな家が、村民の皆さんの家の新築や増改築の参考として活用されることを期待します。

いいたて夏祭り

「第25回いいたて夏まつり」について、村づくり推進協議会で協議した結果、今年は7月31日(土)に開催することになりました。

今年、までいな家が開所したこともあり、環境やエコの視点での体験イベントや新エネルギー設備展示会なども実践してみようと、夏まつりの名称を「エコビレッジフェスティバル」と称して、までいな家周辺で開催することになっています。イベントについては、所期の目的が十分達成されるよう関係機関と連携し取り組んでいきま

世界一幸せな国の地域づくり
に学ぶシンポジウム「飯館2010」

5月12日に南相馬市との定住自立圏形成協定締結を記念して、デンマーク王国から、専門家を招いて、「世界一幸せな国の地域づくり」に学ぶシンポジウム「飯館2010」を開催しました。村内外から約100人が参加し、デンマークの福祉、教育、女性の社会参加についての講演に熱心に耳を傾けていました。



▲いちばん館で開催されたシンポジウム

「ニュートラックいいたて」
平成21年度売得金
及び入場者実績

「ニュートラックいいたて」の平成21年度売得金は総額7億8965万8600円で前年度に比べプラス4032万8800円、5.38%の増となっています。また、入場者数は4万822人で、前年度に比べ1187人の増です。

また、資源回収は全体で前年比6.8%減の272.3tを回収しました。粗大ごみについては5.成21年度売得金は総額7億8965万8600円で前年度に比べプラス4032万8800円、5.38%の増となっています。また、入場者数は4万822人で、前年度に比べ1187人の増です。売得金、入場者数ともに増加した主な要因は、開催日数が1日増えたこと、一人当たりの売得金が増えたこと、前年度と比べて438円の増となったことです。なお、平成21年度の村への交付金は、売得金の1%にあたる789万6586円でした。

平成21年度ごみ収集状況

昨年10月から燃やさないごみのうち「ナイロン・ビニール・プラスチック類のごみ」を分別収集し、南相馬市へ焼却処分を委託していることから、「可燃ごみ」は、303.1tで、前年度より44.5t増えました。一方、「不燃ごみ」は56.0tで、前年度より80.5tの大幅な減となりました。このことは最終処分場の延命化に大きな効果をもたらすものと考えています。

また、資源回収は全体で前年比6.8%減の272.3tを回収しました。粗大ごみについては5.

2tで、前年度より22.4%の減となっています。春秋のクリーンアップで搬入されたごみは9.8tで、前年度より2.0tの減ですが、今後も不法投棄が増大することのないよう、各行政區長や環境衛生推進委員等と連携し、不法投棄の減少に向け啓発していきたくと考えています。

平成21年度税収状況

4月に副村長を本部長とした「村税収納率向上特別対策本部」を設置し、4～5月の2ヶ月間管理職員による訪問徴収を実施し、納付催告と相談を行いました。平成21年度の村税の収入状況は収入額、収納率共に前年度を下回る結果となりました。

特に、法人村民税については、税収入が前年の約3分の1と大幅に落ち込みました。

滞納繰越額は、合計で1億6554万9千円となっており、依然として厳しい状況です。

「いいたてクリニック」開所

4月2日に、統合診療所「いいたてクリニック」の開所式を行いました。

4月5日から診療が始まり、1日平均48人が来院しています。住民の方の健康づくりと疾病予防の



▲開所したいいたてクリニック

面から、クリニックが多くの村民に利用されるよう努力をしていきたいと考えています。

コミュニティバスの運行開始

福島交通の飯樋白石間路線廃止による代替バスとして、4月1日から2台のコミュニティバスが運行を開始しました。このバスは住民の交通手段や患者バスに利用されます。

4月の一日当たりの平均利用者数は、飯樋白石間で約11人、患者バス運行コースで約22人です。今後の運行計画は、見直すこと

ろは見直し、住民の足の確保となるような運行に努めていきたいと思っています。



▲4月から運行が開始されたコミュニティバス

障がい者多機能型事業所

障がい者多機能型事業所は、7月1日開所の予定で改修工事を進めています。また、5月21日に施設の利用希望者に対し説明会を開いており、村は、障がい者の方の社会参加が図られることを期待しています。

平成22年度作付け状況

今年の水稲作付面積は、現段階で702畝と昨年度並みの見込です。水稲の生育状況は、本年は5月上旬になっても天候が安定せず約2週間程度の遅れもありました。

しかし、その後の生育状況についてはほぼ順調に進んでおり、今後の生育と秋の収穫に期待をする

また、野菜等の生育状況については、今のところほぼ順調に生育しています。花卉についても昨年並みに生産量を確保できるものと思っています。

戸別所得補償モデル対策

「戸別所得補償モデル対策」については、村内の農家と集落営農組合1074件を対象に、モデル対策の申請受付を実施しました。

その結果5月19日までに664件申請があり、未申請農家についても申請期限である6月30日までに完了する予定です。

飯館村口蹄疫（こうついでい）対策本部

現在深刻な問題となっている家畜の口蹄疫（こうついでい）対策として、村では未然に発生を防ぐため、「飯館村口蹄疫（こうついでい）対策本部」を設置しました。

九州地方で被害が拡大する中、村では各農家の飼養管理・衛生管理を徹底し、ウイルスの侵入を防ぐため、村と農協により村内の全家畜農家への消石灰を配布すると同時に口蹄疫（こうついでい）の予防の徹底をお願いしています。